

令和3年度新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会政策シート

立候補予定者氏名	白井 倫啓
議題	人が集まる活力あるまちづくり（産業政策）
議題に関する政策	
<p>1. 自然と歴史、文化などの観光資源をブランド化、東三河ジオパーク構想の推進</p> <p>①長篠設楽原の戦いを中心とした戦国時代 長篠城址整備計画の再構築、市内関連資源の連携</p> <p>②自然景観をブランド化。活かすべき資源の選択 鳳来寺山、桜淵、四谷千枚田、清流豊川、乳岩峡、滝、東海自然歩道 中央構造線長篠露頭、長の山湿原等</p> <p>③既存施設、新規施設など宿泊・飲食施設の充実。市内の経済循環の拡充</p> <p>④高速バス事業（令和2年決算額、約3400万円）を見直し、観光地を巡る小型バス 小型電気自動車など移動手段を視野に入れた観光施策を検討</p> <p>2. 森林から雇用を市内全域に拡大、自然エネルギーの活用で市内経済循環の確保</p> <p>①森林整備による多面的機能（洪水防止、水源涵養、山崩れ防止、地域温暖化防止など…280万円/haの価値、新城換算1120億円）を活かす</p> <p>②県立林業大学の創設を愛知県に働きかけ、林業従事者の育成</p> <p>③集落支援員、地域おこし協力隊の活用検討・実施（有機農業者育成とも連携）</p> <p>④山から切り出した木材を徹底活用→建築用、木工製品用、木質バイオマス発電</p> <p>⑤森林整備とレクリエーション機能の推進で、鳥獣害対策</p> <p>⑥水力、風力、太陽光など自然エネルギーの活用検討・実施</p> <p>3. 有機農業のまちづくりで新城市の「安心・安全」を発信、耕作放棄地の徹底活用</p> <p>①耕作放棄地の活用、空家対策で移住者の住まいの確保→有機農業をめざす若者への情報発信で、新城市への移住・定住促進</p> <p>②市内外から選ばれる特色ある有教館、有教館作手校舎をめざし愛知県と連携し、有機農業を目指す若者の育成。</p> <p>③「有機の里」条例の策定、新城独自の有機認証制度策定、有機無農薬農産物の価格保証制度の検討</p> <p>④有機無農薬技術の研究・蓄積・市民への提供→新規就農者の育成</p> <p>⑤学校給食の地産地消100%の追及、市民を交えた自校方式の再検証、 学校から「食の大切さ」を家庭。学校給食を「食教育」の中心に位置づけ 食教育から人づくり</p> <p>⑥都市住民に選ばれるこだわりの農産物の情報発信→田舎と都市住民との交流促進</p> <p>⑦食教育（医食同源、身土不二などの実践）を全世代に広げることで、発達障害、未病、認知などの対策につなげる</p>	